

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2018年12月

主な出来事

- 13日, キンシャサ市中心部にある独立国家選挙委員会(CENI)中央倉庫で火災が発生し, 投票機器(machine a voter)を含む選挙資機材等が焼失した。
- 16日以降, マイ＝ンドンベ州で部族紛争が発生し, 約80名以上が死亡し, 60名以上が負傷した。また, 16日以降の3日間で, 4, 000名以上のコンゴ(民)住民が, コンゴ川を渡り隣国コンゴ共和国のプラトー県に逃れた。
- 19日, キンブタ・キンシャサ市長は, 治安上の理由に鑑み, キンシャサ市でのすべての選挙キャンペーンを中止した。
- 20日, ナンガーCENI 委員長は, 13日にキンシャサ市で発生した CENI 中央倉庫火災の影響等により, 23日に予定されていた選挙を30日に延期すると発表した。
- 26日, CENI は, 23日に予定されていた選挙の30日への延期に関連し, 大統領選挙暫定結果発表を1月6日とする等, 選挙日程の一部変更を発表した。また, 北キブ州ベニ地区周辺でのエボラ出血熱流行及び, マイ＝ンドンベ州ユンビでの大量殺害に関連し, 一部選挙区では, 30日に予定されていた直接投票選挙を2019年3月に延期した。
- 26日, SADC と大湖地域国際会議(ICGLR)の加盟国の首脳他による合同ミニ首脳会議がブラザビルで開催された。
- 27日, コンゴ(民)政府は欧州委員会(EC)に対し, 在コンゴ(民)EU 代表部大使を48時間以内に召還するよう求めた。
- 30日, 大統領選挙, 国民議会選挙及び州議会選挙が実施された(北キブ州及びマイ＝ンドンベ州の一部選挙区を除く)。
- 31日, 政府の命令により, インターネット・アクセスが切断された。SMS の送信も不可能となっている。
- 31日以降, 国内9つの RFI ラジオ送信局のうち, 6局からの放送が受信不可能となっている。

1. 内政

(1)カビラ大統領と外国メディアのインタビュー

・カビラ大統領は, Reuters(9日), Financial Times(10日), Bloomberg(10日), BBC(11日)等, 外国メディア数社とのインタビューに答え, 12月23日の大統領選挙後に大統領の座を退いた後も政界に留まる計画であり, 2023年の大統領選挙に出馬する可能性を除外しない等述べた。

(2)欧州委員会(EC)に対する在コンゴ(民)EU 大使の召還要求

・27日, シェ・オキトゥンドゥ副首相兼外務・地域統合大臣は欧州委員会(EC)に対し, 在コンゴ(民)EU 代表部大使を48時間以内に召還するよう求めた。

(3)カビラ大統領の年末の演説

・29日, 国営テレビ・ラジオ局(RTNC)は20時のニュース冒頭に, カビラ大統領の年末の演説を放映した。

(4) インターネット及び SMS の切断

・31日、当地通信事業者は、期間不確定でのインターネットの切断を発表した。SMS の送信も不可能となっている。政府関係者は、「投票結果に関する偽情報等を流布することによる市民蜂起の可能性があるため、国家治安委員会は、独立国家選挙委員会 (CENI) が投票結果の集計を終えるまで、インターネットの切断を命令した」と伝えた(31日付 AFP)。

(5) 仏 RFI の放送中断

・31日以降、国内9つの RFI ラジオ送信局のうち、6局(キンシャサ、ルブンバシ、キサングニ、ゴマ、ブカヴ、ムバンダカ)からの放送が受信不可能となった。

(6) 選挙キャンペーンの動向

ア ファユル候補の選挙キャンペーン動向

・9日、ラマザニ・シャダリ与党大統領候補(PPRD 常任書記)の地元であるマニエマ州キンドウ市で、同日に到着が予定されていたファユル ECiDe 党首(当館注:カトウンビ元カタンガ州知事及びベンバ MLC 党首等が支持する野党プラットフォーム「Lamuka(リンガラ語で「目覚めよ」の意)」の大統領選挙統一候補)の支持者と与党プラットフォーム「FGC」の支持者が衝突し、人権系市民社会「ACAJ(司法アクセス・コンゴ協会)」は、8名が重傷を負い、うち4名は実弾で撃たれたと伝えた(9日付 AFP)。

・11日、ファユル候補のルブンバシ市到着に関連し、支持者と治安当局の間で騒動が発生、「ACAJ」は暫定版コミュニケで、「Lamuka」支持者2名が実弾を受けて死亡、43名が負傷(うち15名は実弾による)、警察官1名も重傷を負ったと発表した(11日付 AFP)。また、同件に関し国連は、死者3名、負傷者7名、逮捕者13名と発表した(ロレイ RFI 記者ツイッター)。

・12日、ファユル候補のタンガニーカ州カレミイにおける選挙キャンペーンで、1~4名が死亡した(12日付 AFP)。

イ フェリックス・チセケディ候補の選挙キャンペーン動向

・13日、野党 UDPS の地元である東カサイ州ンブジ=マイで、フェリックス・チセケディ候補(UDPS 党首)とカメレ UNC 党首の到着を待っていた若者1名が、警察官の発砲により死亡した。

・16日、UDPS の地元であるカサイ州チカパ市で、同日に到着したムワング元初等教育相と、同大臣に遅れて到着したフェリックス・チセケディ候補及びカメレ UNC 党首の支持者が衝突し、ムワング元大臣の支持者1名が死亡、81名が負傷した(17日付 AFP)。

ウ キンシャサ市長がキンシャサ市内での選挙キャンペーン中止を決定

・19日、キンブタ・キンシャサ市長は、治安上の理由に鑑み、18日以降、キンシャサ市でのすべての選挙キャンペーン(メディアを除く)を中止する旨のコミュニケを発出した。この措置は、一切の例外なし(与野党とも)に適用される。

(7) 野党の動向

ア キン=キエイ大統領選挙候補がフェリックス・チセケディ UDPS 党首支持を表明

・3日、大統領選挙に立候補しているキン=キエイ元国会関係大臣は、フェリックス・チセケディ UDPS 党首を統一候補として支持すると表明した。

イ 選挙の延期に対する声明

・21日、野党プラットフォーム「CAP POUR LE CHANGEMENT (CACH, 変化への方向)」及び「LAMUKA」は、ナンガー独立国家選挙委員会(CENI)委員長が20日に発表した、投票日の23日から30日への延期に関する声明で、30日への延期を受け入れ、他方、それ以降一日たりとも延期を認めないと発表した。

ウ 野党プラットフォーム「Lamuka」の記者会見

・31日、ルンビ「Lamuka」選挙対策部長は記者会見を行い、「これまでに全国で三分の一の開票が行われ「Lamuka」のファウル候補が大きく他を引き離している」と述べた(31日付 AFP)。

(8)独立国家選挙委員会(CENI)の動向

ア CENI 中央倉庫等の火災

・13日午前2時頃、キンシャサ市中心部にある CENI 中央倉庫で火災が発生した。同倉庫には、投票機器(machine a voter)を含む選挙資機材が保管されていた。ナンガーCENI 委員長は、8,000台の投票機器が焼失したと発表し、現在、いかにして、23日に予定されている選挙を実施するかの検証を行っている」と述べた(13日付 AFP)。

・16日、北キブ州ベニ市の CENI 倉庫が何者かに襲撃された。同倉庫に保管されていた投票機器200台等に被害はない(16日付 AFP)。

イ 選挙の延期

・20日、ナンガーCENI 委員長は記者会見を行い、13日にキンシャサ市で発生した CENI 中央倉庫火災の影響等により、23日に予定されていた選挙を30日に延期すると発表した。

ウ CENI がレンタルした航空機の墜落

・21日、CENI 報道官は、20日にカサイ州チカパ市からキンシャサに向かっていた航空機(アントノフ26、「Gomair 社(コンゴ(民)の民間航空会社)」所有)が墜落し、乗員乗客6名全員が死亡したと発表した。同機は、キンシャサから CENI の選挙資機材を搭載してチカパ市に向かい、同市で資機材を下ろした後、キンシャサに戻る着陸直前に墜落した。原因は解っていない(21日付 AFP)。

エ 新たな選挙日程(一部)及び一部地域での選挙延期

・26日、CENI は、23日に予定されていた選挙の30日への延期に関連し、選挙日程の一部を以下のとおり変更したと発表した(当館注:1月6日の暫定結果発表は延期された)。

2019年1月6日 大統領選挙暫定結果発表

同年1月15日 大統領選挙最終結果発表

同年1月18日 新大統領宣誓式

・また、北キブ州ベニ地区周辺でのエボラ出血熱流行及び、マイ＝ンドンベ州ユンビでの大量殺害に関連し、北キブ州のベニ選挙区、ベニ市及びブテンボ市、及び、マイ＝ンドンベ州ユンビ(Yumbi)選挙区では、30日に予定されていた直接投票選挙を2019年3月に延期すると決定した。

オ 選挙の実施

・30日、一部地域(北キブ州のベニ選挙区、ベニ市及びブテンボ市、及び、マイ＝ンドンベ州ユンビ選挙区)を除き、大統領選挙、国民議会選挙及び州議会選挙が実施された。

(9)SADC 及び AU 選挙監視団の動向

・10日、SADC 選挙監視団(SEOM)の発足式が行われた。

・22日、CENI は、ディオクンダ・トラオレ・マリ元暫定大統領の率いる総勢76名の AU 監視団と面談を行った。

2. 外交

地域ミニ首脳会議の開催(於:ブラザビル)

・26日、SADC と大湖地域国際会議(ICGLR)の加盟国から首脳5名(コンゴ(共)、アンゴラ、ザンビア、ボツワナ、ナミビア)及びルワンダ外相、在コンゴ(民)南ア大使、在コンゴ(共)ウガンダ臨代

等が参加した合同ミニ首脳会議がブラザビルで開催され、コンゴ(民)の選挙キャンペーンをめぐる暴力的状況等について協議された。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1) 北キブ州ベニ情勢

- ・7日、ニョニ・ベニ市長は、5日から6日にかけて、ベニ市近郊で、ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)とみられる武装勢力が2度の襲撃を行い、5日夜にはマンガリケネ(Mangolikene)で市民12名が殺害され、6日夜にはパイダ(Paida)で市民5名が殺害されたと伝えた。また、ハズカイ・コンゴ(民)国軍(FARDC)報道官によると、6日夜、パイダにある FARDC 陣地が攻撃を受け、FARDC は反撃を行ったが、市民が犠牲となった(7日付 AFP)。
- ・10日深夜から11日未明にかけて、ベニ地区のオイチャ(Oicha)で、ADF とみられる武装勢力が襲撃を行い、市民10名が殺害された(11日付 AFP)。
- ・22日深夜から23日未明にかけて、ベニ地区のマシアニ(Masiani)で、ADF とみられる武装勢力が襲撃を行い、市民4名と FARDC 兵士1名の5名が殺害され、3名が負傷した。一方で、殺害されたのは8名との証言もある(23日付 AFP)。
- ・24日、ベニ市で、FARDC のアントノフ機が着陸に失敗し、乗員乗客あわせて68名のうち、38名(軍人34名、乗員4名)が負傷した(うち8名は重傷)。死者は発生していない(24日付 AFP)。

(2) 北キブ州:FDLR-Foca と FARDC の交戦で、FARDC 兵士2名が死亡

- ・16日、FDLR(ルワンダのツツ族系反政府武装勢力)の一派である FDLR-Foca の幹部2名が、ゴマ市の北東100キロの地点で、FARDC 諜報部に逮捕されたのを受け FDLR-Foca と FARDC の間に衝突が発生し、FARDC 兵士2名が死亡した(17日付 AFP)。

(3) 南キブ州フィジ地区情勢

- ・3日、南キブ州フィジ地区で、マイマイ・ヤクトウンバ(マイマイは自警団的な性格をもった武装集団)とコンゴ(民)国軍(FARDC)が交戦し、FARDC 兵士4名とヤクトウンバの民兵14名が死亡した。ヤクトウンバ側の死者には、同マイマイのナンバー2であるアリダ司令官が含まれている(3日付 AFP)。

4. その他地域情勢

マイ＝ンドンベ州

- ・16日以降、マイ＝ンドンベ州(旧バンドゥンドウ州の一部)で、バナヌ族(Banunu)とバテンデ族(Batende)による部族紛争が発生し、これまでに、約80名以上が死亡し、60名以上が負傷した。また、コンゴ共和国当局者によると、16日以降の3日間で、4,000名以上のコンゴ(民)住民が、コンゴ川を渡り、コンゴ共和国のプラトー県に逃れている。紛争の理由は、バナヌ族が、彼らの伝統的首長(chef coutumier)をバテンデ族の土地に埋葬しようとしたことに起因している(19日付 AFP)。

5. その他

(1) 米国関連施設へのテロ情報

- ・4日、米大は、11月24日に発表した同国関連施設へのテロ情報により同月26日から閉鎖していた大使館窓口業務を再開した。

(2) 選挙プロセスに関する当地外交団共同宣言

- ・21日、日本を含む当地外交団(米、加、韓、MONUSCO、スイス、AU、EU)、は「大統領選挙等が23日から30日に延期されたことを確認し、信頼性があり平和な選挙プロセスの成功をすべての関係者に求める等」の共同宣言を発出した。

(3) Filimbi 活動家の釈放

・25日、昨年12月31日にカトリック非聖職者調整委員会(CLC)が呼びかけた平和的デモ行進で逮捕され、今年9月、「国家元首侮辱罪」で1年の懲役判決を受けた Filimbi（若者による民主化推進グループのひとつ）のメンバー4名(Carbone Beni 等)が、クリスマス当日に釈放された(25日付 AFP)。